

# 守山市吉身学区 地区防災計画

## 地震初動編



令和3年（2021年）3月

# 目次

- (1) 吉身学区の防災目標
- (2) 地区防災計画の対象
- (3) 吉身学区の概要
- (4) 吉身学区で想定されている被害
- (5) 吉身学区での防災まちあるき
- (6) 吉身学区のまち点検
- (7) 吉身学区災害対策本部の役割
- (8) 吉身学区災害対策本部組織
- (9) 自治会と学区災害対策本部間で  
やり取りする情報
- (10) 初動期における活動の流れ
  - 【資料1】自治会状況リスト(1)
  - 【資料2】自治会状況リスト(2)
  - 【資料3】自治会対応リスト(1)
  - 【資料4】自治会対応リスト(2)
- (11) 自治会における防災の取り組み
- (12) 今後必要な取り組み
- (13) おわりに
- (14) 吉身学区地区防災計画策定会議委員

# 吉身学区の防災目標

## 「災害に備えて、住民皆で力を合わせましょう」

吉身学区の防災目標は「災害に備えて、住民皆で力を合わせましょう」です。守山市は、琵琶湖西岸断層帯による直下型地震、南海トラフ巨大地震、風水害などによる被害が懸念されていますが、大規模な自然災害を前に、人間は非力なものであるということを私たちは学びました。そこで、災害に対する正しい理解を深めるとともに、災害が発生しても、被害を最小限度に食い止めることができるよう、日頃から吉身学区全体の力を合わせた地震や風水害に備える仕組みづくりが必要となります。

この「吉身学区地区防災計画（地震初動編）」は、吉身学区災害対策本部を位置づけるとともに、地震被害発生から広域避難所までの流れと、各地区で取り組まれている防災活動や避難体制を共有し、学区全体の力を合わせて、災害被害を少しでも軽減できるよう策定しました。

人間関係が希薄化する中で地域のつながりを深めることは簡単ではありません。しかし、災害に備えた仕組みづくりには皆さんの協力が欠かせません。住んで良かった吉身学区を目指して、皆様のご支援をお願いします。

# 地区防災計画の対象

吉身学区地区防災計画は、「地震」の発災から市指定避難所到達までの初動期を対象としています。琵琶湖西岸断層帯等の直下型地震と南海トラフ地震の海溝型地震に対して、起こり得る被害の想定と、地震発生直後の初動期における学区災害対策本部の役割・体制及び行政・各自治会との連携方策について示しています。

対象となるハザードとその基準	震度5強以上
計画の局面	地震発生直後から最終避難所への到達まで
計画の目的	<ul style="list-style-type: none"><li>①吉身学区における地震の被害想定や対策のあり方を周知する。</li><li>②地震発生時から最終避難所までの学区災害対策本部の役割と体制について把握する。</li><li>③自治会における防災の取り組みと避難の体制について把握する。</li></ul>

# 吉身学区の概要

守山市の南東部に位置する吉身学区は、市役所をはじめ済生会守山市民病院や県立総合病院など公的施設を擁した子育て世代の転入者が多い人口増加地域です。

中山道を中心とした昔ながらの商店街と高層マンションが建ち並ぶ都会的な街並みの中に、四季折々の田園風景を残した、新旧の良さが混在しています。いにしえには平原の守山で、高くなだらかな丘があり「吉の水」とも呼ばれた清浄な湧き水の郷でもありました。こうした地域の歴史が地名として残り、現在も伝えられています。

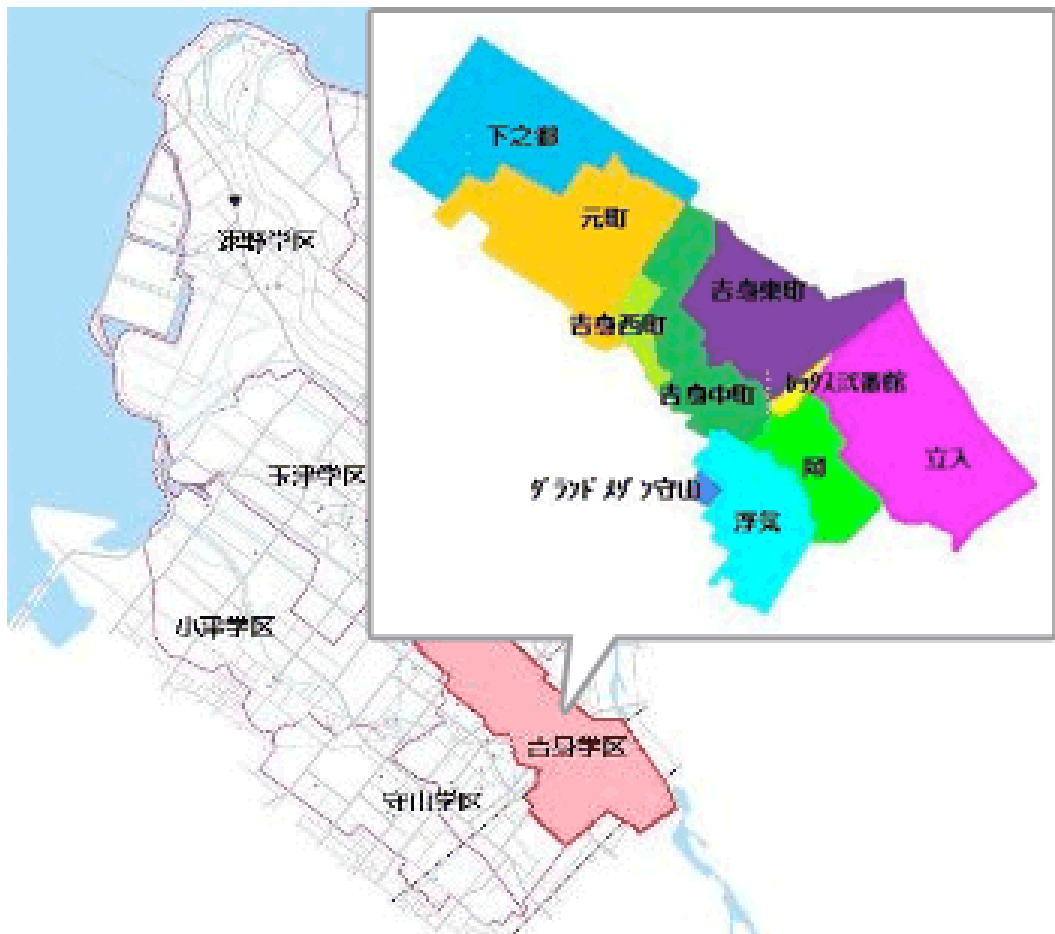


図1 吉身学区マップ（守山市ホームページより抜粋）

# 吉身学区の概要

吉身学区は、吉身小学校区および立入が丘小学校区の2つの校区と10の自治会（図2）から構成されています。どの自治会も自主防災活動を活発に取り組んでいます。

元町自治会	岡自治会
下之郷自治会	立入自治会
吉身西町自治会	浮気自治会
吉身中町自治会	グランドメゾン守山自治会
吉身東町自治会	レックス式番館自治会

図2 小学校区別の自治会の構成

表1 吉身学区の自治会に関する基礎情報（2021年1月現在）

自治会名	世帯数	人口（人）			高齢者数（男女別）			高齢化率（%）
		男	女	計	男	女	計	
元町	1,427	1,600	1,667	3,267	281	350	631	19.31%
下之郷	854	1,134	1,132	2,266	203	235	438	19.33%
吉身西町	115	140	134	274	30	30	60	21.90%
吉身中町	1,060	1,182	1,226	2,408	277	350	627	26.04%
吉身東町	984	1,260	1,289	2,549	188	221	409	16.05%
岡	598	758	791	1,549	154	189	343	22.14%
立入	602	876	851	1,727	105	113	218	12.62%
浮気	856	1,083	1,062	2,145	209	239	448	20.89%
グランドメゾン	419	407	468	875	157	175	332	37.94%
レックス	171	206	219	425	47	42	89	20.94%
吉身学区全体	7,086	8,646	8,839	17,485	1,651	1,944	3,595	20.56%

# 吉身学区で想定されている被害

## ■ 琵琶湖西岸断層帯での地震の被害想定

琵琶湖西岸断層帯地震は発生すると県内で甚大な被害が想定されています。政府地震調査本部によると、琵琶湖西岸断層帯での30年以内の地震発生確率は1～3%と推計されており、断層帯北部ではマグニチュード7.1程度、断層帯南部では同7.5程度の地震の発生が想定されています。

吉身学区においても最大震度6強（図4参照）をもたらし、市内で最大震度7と予測され、滋賀県内で想定される地震の中で守山市に最も大きな被害をもたらす可能性があります。「滋賀県地震被害想定」（2014年3月公表）によると、琵琶湖西岸断層帯での地震において守山市内では図3のような被害が試算されています。

被害種別・項目	時期・条件	被害
全壊棟数		1,823
全焼棟数	夏 正午 風速8m/sec	12
	冬 夕方 風速8m/sec	582
	冬 深夜 風速8m/sec	5
死者数	夏 正午 風速8m/sec	64
	冬 夕方 風速8m/sec	92
	冬 深夜 風速8m/sec	100
負傷者数	夏 正午 風速8m/sec	772
	冬 夕方 風速8m/sec	983
	冬 深夜 風速8m/sec	1,191
避難所生活者数	1日後	4,083
	3日後	7,182

図3 琵琶湖西岸断層帯の被害想定（case2：南部からの断層破壊を仮定）  
（「滋賀県地震被害想定」より抜粋）

# 吉身学区で想定されている被害

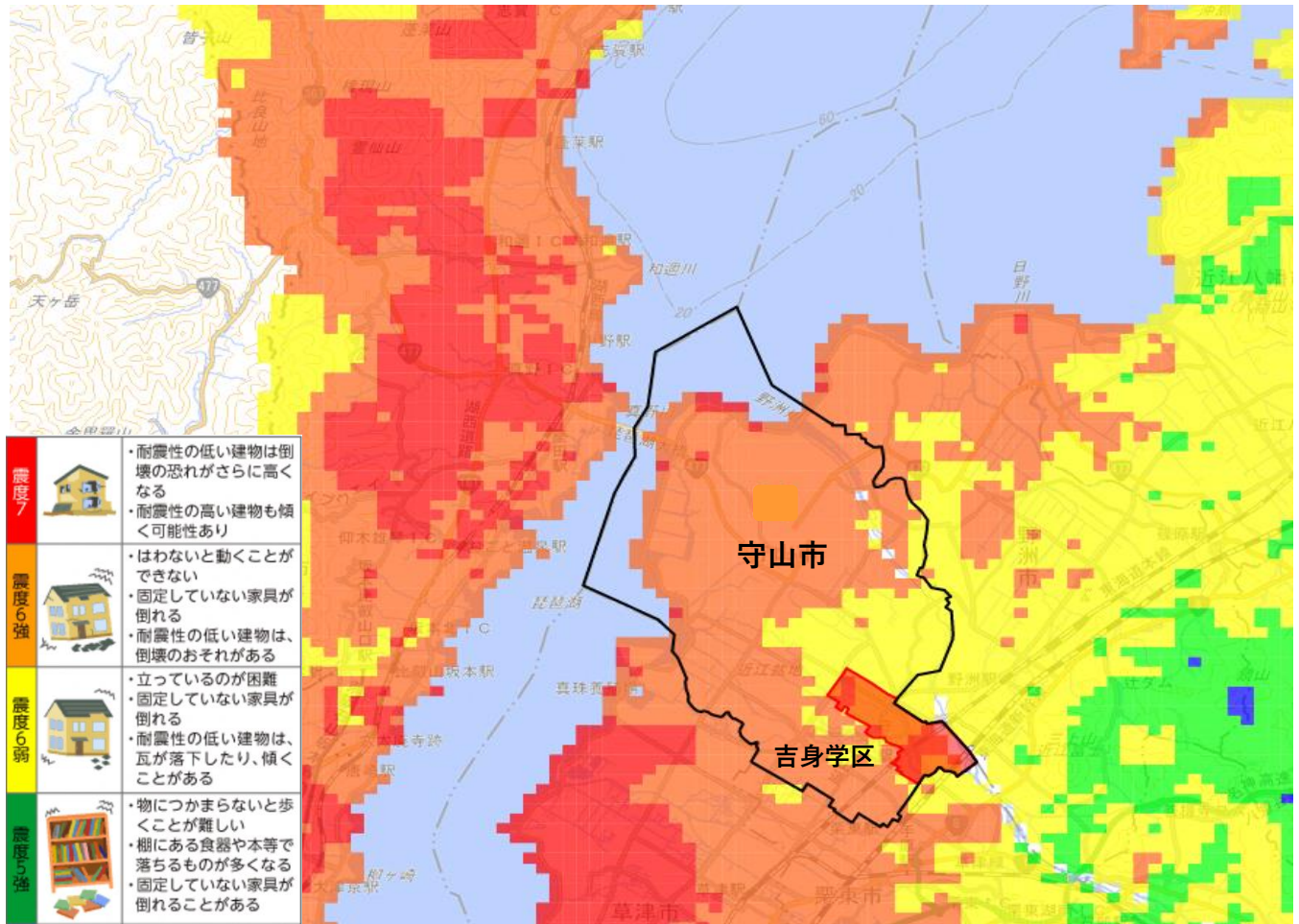


図4 琵琶湖西岸断層帯の地震リスクマップ (case2: 南部からの断層破壊を仮定)  
(滋賀県防災情報マップより抜粋)





# 吉身学区で想定されている被害

## ■ 南海トラフ巨大地震の被害想定

南海トラフ巨大地震（東南海・南海地震）が発生すると、市内のほぼ全域で最大震度6弱（図6参照）をもたらすとともに、全国に被害をもたらす極めて社会的影響の大きい地震のため、他地域からの受援不可能であり、県内防災力のみで対応すべき状況に陥る可能性があります。

政府地震調査本部によると、南海トラフでの地震の発生確率は、30年以内の発生確率が70～80%と極めて高い確率が試算されていることから今のうちから確実に備えておく必要があります。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、守山市内では図5のような被害が試算されています。

被害種別・項目	時期・条件	被害
全壊棟数		331
半壊棟数		2,747
死者数	夏 正午 風速8m/sec	6
	冬 夕方 風速8m/sec	10
	冬 深夜 風速8m/sec	13
負傷者数	夏 正午 風速8m/sec	140
	冬 夕方 風速8m/sec	170
	冬 深夜 風速8m/sec	373
避難所生活者数	1日後	1,012
	3日後	2,844

図5 南海トラフ巨大地震の被害想定（陸側ケースを仮定）  
（「滋賀県地震被害想定」より抜粋）

# 吉身学区で想定されている被害

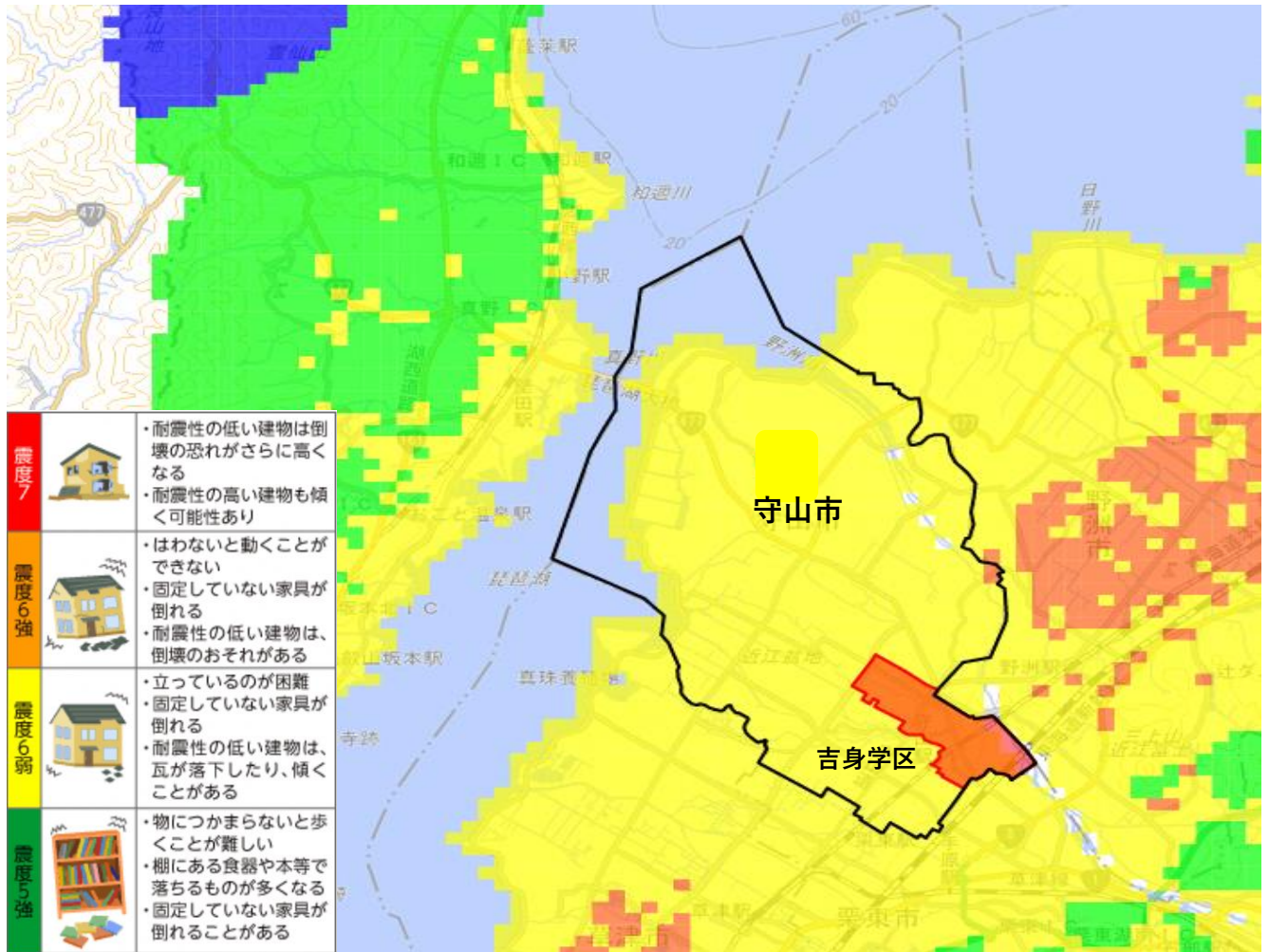


図6 南海トラフ巨大地震の地震リスクマップ（陸側ケースを仮定）  
（滋賀県防災情報マップより抜粋）



# 吉身学区での防災まちあるき

令和2年（2020年）12月26日に吉身学区にお住まいの方々とともに防災まちあるきと意見交換を行い、災害時の危険箇所や心配な点、想定される被害や防災資源を発掘していききました。

次のページでは、吉身学区での防災まちあるきで明らかとなった災害時の危険箇所や心配な点を示しています。災害時の危険箇所や心配な点は、できるだけ減らしていくような取り組みを学区全体で進めていく必要があります。

## 吉身学区まち点検・意見交換の様子



（立入が丘小学校区での防災まちあるきの様子）



（吉身小学校区での防災まちあるきの様子）

# 吉身学区のまち点検（１）

## 地震発生時の危険箇所・心配な点

立入が丘小学校区

- 古くからの集落では、線路による行き止まりや、幅員が狭い道路がある
- 倒壊の恐れがあるブロック塀が心配
- 神社の敷地内の木が倒木する危険性がある
- 校区内にガソリンスタンドがない

吉身小学校区

- 古くからの地域では、道が狭く、ブロック塀があるなど災害時に危険な箇所が多い
- 危険箇所に対する注意看板が必要
- 道が狭く、住宅が密集しているエリアがある
- フェンスやグレーチングがない側溝や水路がある（水路は守山の魅力でもあるが）
- 一時避難場所の見直しが必要。集まって安否確認を行うことが、逆にリスクになる可能性がある
- 緊急自動車が入れない道路がある
- 補強されていないブロック塀がある
- 新興住宅地は道が行き止まりとなっている箇所がある（安全ではあるが、避難路の確保に課題がある）
- メンテナンスが行われていない防災器具がある
- 電柱が通行や避難の障害となっている箇所がある

# 吉身学区のまち点検（２）

## 吉身学区の魅力・防災資源 今後の防災の取り組みの方向性

立入が丘小学校区

- 無線機やAEDが自治会館にあると良い
- 一時避難場所で安否確認を行うために消火栓ボックスにメモ帳を入れておくと良い
- 立入が丘小学校の災害トイレを使用した訓練が必要
- 道幅の危険性を考慮した避難路が必要
- 自治会館の災害時の利用方法を避難行動計画に盛り込む必要がある

吉身小学校区

- 校区内に総合病院があることから「安全、安心な地域」だといえる
- コミュニティが活発
- 水路が張り巡っているのは守山の魅力
- 校区内に設置されているが、今は使われていない防災器具を今後、活用していきたい

# 吉身学区災害対策本部の役割

- 大規模災害時、地域住民が自らの安全安心を確保するため果たすべき役割を総括する学区災害対策本部を設置する。
- 学区災害対策本部は、災害が発生し、またはそのおそれのある場合において開設し、災害の発生がなく、また災害の応急措置が完了したとき閉鎖する。
- 緊急に災害情報の伝達と被害状況の把握を行い、併せて被害の防止、軽減および災害対策を確立する。

学区災害対策本部  
(吉身会館)



守山市

連携

元町自治会

下之郷自治会

吉身西町自治会

吉身中町自治会

吉身東町自治会

岡自治会

立入自治会

浮気自治会

グランドメゾン守山自治会

レックス式番館自治会

# 吉身学区災害対策本部の役割

## 【学区災害対策本部の役割】

- 自治会間での応援調整を行い、災害時における効果的な初動対応を実現する
- 被害状況を把握し、対応方針を調整・決定する
- 学区内での災害情報の周知を行う
- 学区内での救援（ひと、モノ、情報）を調整手配する
- 守山市と被害情報の共有を行う

## 【学区災害対策本部設置基準】

- 守山市に震度5強以上の地震が発生したとき
- 守山市に特別警報が発令されたとき
- 吉身学区に被害が発生し、拡大する恐れがあるとき
- その他本部長が必要と認めるとき
- 震度5強以上の地震が発生した時は、一時避難場所に集合してから、学区災害対策本部要員は速やかに学区災害対策本部に参集し、設置するものとする

## 【学区災害対策本部構成員】

- 本部長、副本部長、情報班、応援調整班
- その他本部長が必要と認めるもの

# 吉身学区災害対策本部組織

## 吉身学区災害対策本部

学区災害対策  
本部長

吉身学区災害対策本部の  
指揮・調整を行う

学区災害対策  
副本部長

吉身学区災害対策本部長を  
補佐する

情報班

各自治会から被害や支援  
に関する情報を収集し、  
学区全体の被害状況につ  
いて把握する

応援調整班

自治会からの応援の受入  
と他自治会への応援を依  
頼する

自治会  
自主防災会

守山市  
危機管理課



# 吉身学区災害対策本部組織

年 月 日現在

役割	氏名	所属団体・役職	自治会
学区災害対策 本部長			
学区災害対策 副本部長		(吉身本部長)	
		(立入本部長)	
情報班			
応援調整班			

# 自治会と学区災害対策本部間で やり取りする情報

## 【自治会からの情報】

- 被災状況に関する情報（全壊家屋、火災、負傷、道路損壊）を学区災害対策本部へ情報提供する。
- 他自治会等への支援の要否（初期消火、人命救助、災害時要配慮者支援、その他）を学区災害対策本部へ報告する。
- 安否確認に関する情報（安否確認の状況、不明世帯数）を学区災害対策本部へ情報提供する。
- 希望避難先に関する情報（市指定避難所受入希望者数など）を学区災害対策本部へ情報提供する。

## 【学区災害対策本部からの情報】

- 学区の被害情報や守山市からの情報を各自治会へ周知する。
- 応援要請を自治会へ依頼する。

# 初動期における活動の流れ

## 学区災害対策本部

### 自治会の状況把握

- 自治会対応リスト [資料3] [資料4] の張り出し
- 学区地図等に状況記入

(自治会から状況報告がない場合)

### 分析・対応の検討

- 市指定避難所希望者の集計
- 学区での被害状況の把握
- 応援内容の判断

### 応援要請

- 応援要請元／応援要請先との連絡調整

守山市役所との  
連絡・調整

連絡・調整

守山市  
危機管理課

## 各自治会

### 自治会からの報告

- 被害状況／支援要否の情報提供 [資料1]
- 安否確認／希望避難先の情報提供 [資料2]

応援要請元  
自治会

[応援の実施]  
倒壊家屋生き埋め者の救出、初期消火等

応援要請先  
自治会

状況報告

確認

応援を要請

応援終了後に  
結果報告

応援要請の連絡

応援要請の同意

必要に  
応じて情報共有

自治会  
自主防災会

# 【資料1】自治会状況リスト（1）

学区災害対策本部（吉身会館内）

TEL：077-583-1650 FAX：077-582-0496

E-mail：yoshimikaikan@city.moriyama.lg.jp

記入者

月

日

時現在

## 【自治会記入（応援依頼を含む）】

必要により地図を添付

被災状況

全壊家屋  有  無

火災

負傷

道路損壊

支援要否

初期消火  要  否

人命救助

災害時  
要配慮者

その他  可  否

自由記述

## 【学区災害対策本部記入欄】

# 【資料2】自治会状況リスト (2)

学区災害対策本部 (吉身会館内)

TEL : 077-583-1650 FAX : 077-582-0496

E-mail : yoshimikaikan@city.moriyama.lg.jp

記入者

月

日

時現在

## 【自治会記入】

安否確認の状況  済  未 ( ) 世帯不明  
( ) 人不明

希望  
避難  
先

在宅避難希望者数

( ) 世帯  
( ) 人

親戚・知人宅への避難希望者数

( ) 世帯  
( ) 人

車中泊避難希望者数

( ) 世帯  
( ) 人

吉身小学校避難所希望者数

( ) 世帯  
( ) 人

立入が丘小学校避難所希望者数

( ) 世帯  
( ) 人

その他

( ) 世帯  
( ) 人

## 【学区災害対策本部記入欄】

# 【資料3】自治会対応リスト（1）

月

日

時現在

自治会名	被害状況				支援要否				
	全壊家屋	火災	負傷	道路損壊	安否確認	初期消火	人命救助	要配慮者	その他
元町									
下之郷									
吉身西町									
吉身中町									
吉身東町									
岡									
立入									
浮気									
グランド メゾン守山									
レックス 式番館									

# 【資料4】自治会対応リスト（2）

月

日

時現在

自治会名	安否確認の状況			希望避難先					
	済	不明世帯数	不明人数	在宅避難	親戚知人宅	車中泊	吉身小	立入が丘小	その他
元町									
下之郷									
吉身西町									
吉身中町									
吉身東町									
岡									
立入									
浮気									
グランド メゾン守山									
レックス 式番館									

# 自治会における防災の取り組み

吉身学区では10の自治会から構成されており、それぞれの自治会では自主防災活動が活発に展開されています。吉身学区の全ての自治会に対して、①自治会の自慢、②防災上の課題、③防災スローガン、④特徴的な防災活動について明らかにしました。その上で、各自治会ごとの「最終避難所」を示しています。

自治会ごとの防災の取り組みや避難の体制を共有し、できるところから課題を解決することで、災害発生時に学区全体でより効果的な対応ができるように目指しましょう。





# 元町自治会

【最終避難所】

吉身小学校



## 自治会の自慢

- 秋の総合防災訓練をフェスティバル形式とし、各種団体と連携しながら行っている。
- 高規格防災無線機を8台装備。各イベントで使用している。

## 防災上の課題

- 高齢者が多い。
- 住民数が多いので、災害時避難の対応をどうするかに苦慮している。

## 防災スローガン

「自分たちの地域（まち）は自分たちで守ろう」

## 特徴的な防災活動

- 元町自治会の一時避難場所マップを全戸配布している
- 夜警時に危険個所の摘出
- 定期的な消火栓BOX点検

# 下之郷自治会

【最終避難所】

守山中学校



## 自治会の自慢

- 年末・年始を跨ぎ夜警パトロールを実施（約1ヶ月間）。
- 消火器（水）および消防ポンプ車による放水訓練、および電動カッターによる切断訓練の実施。

## 防災上の課題

- 道路（里道）が狭い上両サイドのブロック塀倒壊の不安がある。
- 電柱（木柱）が通行を妨げている。

## 防災スローガン

「災害に強いまち」

## 特徴的な防災活動

- 消火栓格納庫の点検 ホース・筒先・バルブ開閉治具等の確認（3ヶ月毎）。
- 救助活動に使用する動力機器の定期点検（3回／年）。

# 吉身西町自治会

## 【最終避難所】

吉身小学校



## 自治会の自慢

- 自治会会員同士の関係が密で、隣組の結束も強い。
- 自治会活動にも積極的で、経験・知識の多い方が多い。

## 防災上の課題

- 後期高齢者を高齢者が介助・誘導する状態。
- 自治会一時避難場所は決めているが、各組での集合場所や避難経路が認識出来ていない。

## 防災スローガン

「自分たちの町は、自分たちで守ろう！」

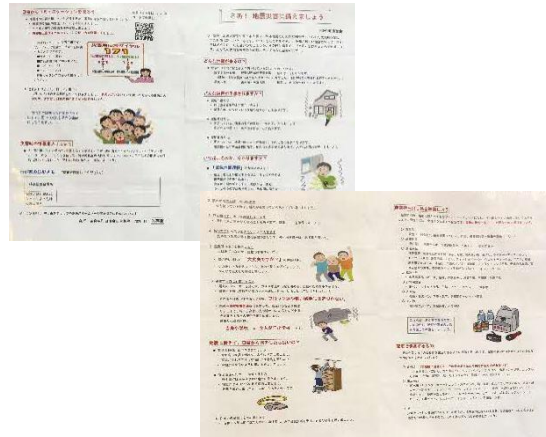
## 特徴的な防災活動

- 年3回の「自衛消防隊訓練」、年1回の「自治会自主防災訓練」を実施。
- 本年「自衛消防隊訓練」の一環として課題の「自治会内の避難経路図」の作成を実施する予定。

# 吉身中町自治会

## 【最終避難所】

吉身小学校、立入が丘小学校



## 自治会の自慢

防災に対する住民の意識が高いこと。平成29年に実施した防災アンケートでは、防災に関心があると答えた住民は9割を越えている。また、飲料水や食料を備蓄している住民は5割を越えており、併せて、近所の高齢者等の避難に協力できると回答された住民は、呼びかけられたり、他の人と一緒ならできるといふ方を含めると7割近くになっている。

## 防災上の課題

中山道沿いの住宅地には、緊急自動車の通行が困難な道路やブロック塀が多く見られる。また、県道高野守山線(157号)のJRアンダーパスは道幅が狭く車のすれ違いができないため、災害時には交通の大きなネックになると思われる。

併せて、学区内では2番目に高齢化が進んでおり、避難行動要支援者の数も多くなっている。

## 防災スローガン

「声掛けて 築こう 災害に 強いまち」

## 特徴的な防災活動

- 自衛消防隊および女性消防隊では、毎月第1日曜日に初期消火の訓練を行っている。また、自治会では年1回の防災訓練や年末夜警を実施している。
- 令和2年11月、自治会で地震防災パンフレットを作成し各戸に配布した。パンフレットには予想される地震の規模や被害の程度、また地震発生時の対応や日頃の備えについて記載するとともに、地域で支え合う関係づくりの大切さを訴えている。

# 吉身東町自治会

## 【最終避難所】

吉身小学校



## 自治会の自慢

防災訓練の参加者が多い。防災訓練において住民の皆様いろいろな体験をしてもらうことが大切と考え、訓練内容を毎年変えている。例えば、仮設トイレ組立、HUG訓練を使った避難所開設、エンジンカッター、チェーンソー、発電機を使った救助体験など

## 防災上の課題

- 高齢者が多い（偏り）・道幅が狭い・ブロック塀が多い為、避難に困難。
- 広域避難経路の見直し（避難時に人が密集する）

## 防災スローガン

「災害に強いまちづくり」

## 特徴的な防災活動

- 町内避難訓練（煙中体験、起震車による地震の疑似体験、水消火器訓練等）、水難訓練（7月）、DIG訓練、HUG訓練、救命講習。
- ホース格納箱の点検を2回/年行っている。
- 年間計画を作り、毎月第1日曜日に自衛消防隊と女性消防隊と本部役員が防災活動に取り組んでいる。

# 岡自治会

## 【最終避難所】

立入が丘小学校



## 自治会の自慢

自主防災組織を有している。  
一方多くの町民が経験できるように1年交代制の自衛消防隊を作り隊員による防災訓練に取り組んでいる。

## 防災上の課題

- 高齢化率が上昇傾向。
- 所々に狭い道がある。

## 防災スローガン

「自助・共助による災害に強い自治会を目指す」

## 特徴的な防災活動

- 毎月第2日曜日に防災訓練を実施（3月、10月を除く）。
- 全町民による避難誘導訓練及び小中学生を対象とした初期消火訓練にも取り組んでいる。
- 寿会による高齢者の見守り活動を定期的に行っている。

# 立入自治会



## 【最終避難所】

立入が丘小学校



## 自治会の自慢

30-40歳代が多く園児、幼児、児童にあふれ活気のある町、高齢化率は12.66%

## 防災上の課題

- 高齢者は217人、幼児、園児が多い、避難行動要支援者が46人
- 万一野洲川堤防が決壊すれば立入町（小学校含む）は大きな被害を受ける。
- その際、および吉身川氾濫時避難道路が寸断される。

## 防災スローガン

「みんなで守ろう命と財産」

## 特徴的な防災活動

- 自衛消防隊員による消火栓のおよび消火栓ボックスの点検（毎月）。
- 自衛消防隊員による軽可搬式ポンプの操法訓練（年3回）。
- 自治会主催の全住民対象の総合防災訓練（年1回）。
- 自衛消防隊員および自治会役員による年末夜警（12/2～12/30）。

# 浮気自治会



## 【最終避難所】

### 立入が丘小学校



## 自治会の自慢

- 若い人が多くなってきている（昼間は居ないかも）。
- 発電機、ガス設備等で炊き出し可能。
- 発電機使用による地下水の給水が可能。
- テント10台所有。（設営可能な人員も多い。）
- 自治会運営の中心となる方が高齢であるため、常時地元にいる可能性が高い。

## 防災上の課題

- 防災意識・危機意識が希薄（誰かが助けてくれると思ってしまっていないだろうか）。
- 若い人が昼間はいなくなる。
- 自治会館の避難所利用の仕組みがない。
- 現状に合った防災マニュアルがない（避難手順や情報収集手順）。
- 災害時のための非常食等の備蓄がない。
- 通信設備面（ネット環境なし）。
- 自治会に密に触れている人の数が少ない。
- 交通量の多い道路が多数存在。
- 冠水するエリアがある。

## 防災スローガン

「自主防衛～地域のつながりで減災を～」  
自助のレベルアップで共助の負担を減らす（共助が必要となる人の数を減らす）

《個人としての目標》

- 各世帯での自主防衛（非常食の備蓄・非常持ち出しグッズの準備・家族の安否確認方法を決める）

《自治会としての目標》

- 有事の際、誰でも迷わず動ける（避難の順序）マニュアルを作る
- 有事の際、誰でも迷わず情報の収集と伝達ができる（一時避難場所での）マニュアルを作る
- 非常食の備蓄や非常持ち出しグッズの準備の啓発
- 自治会事業での自治会員の交流を促す
- 現状にあった避難のマニュアル作成（一時避難場所近くの消火栓BOXに入れておく）

## 特徴的な防災活動

- 年2回の防災訓練。
- 年1回の消火器具の全点検。
- 防災設備の更改計画を策定し、自治会予算を加味して年次ごとに更改している。



# グランドメゾン守山 自治会

## 【最終避難所】

立入が丘小学校



## 自治会の自慢

- 各住戸の一覧表を作成し、避難確認体制を整備している。
- 各棟毎に避難行動要支援者の担当を定め、月1回の友愛訪問を実施している。  
(民生委員、福祉協力員)

## 防災上の課題

- 高齢者が多い。(高齢化率が吉身学区内で最高 37.3%)
- 15階建マンションのためエレベーター停止時の避難が階段になるため、高齢者や歩行困難者の避難が容易でない。
- 近隣者・居住者間の交流が多くないため、未避難者の確認が容易でない。
- 災害発生時に活動可能な若手が少なく大多数が高齢者になりかねない。

## 防災スローガン

「火をつけたら火元を離れるな！」

当マンションの想定災害は主に火災(地震時含む)のため

## 特徴的な防災活動

- 年2回(春、秋)の総合防災訓練(避難、炊き出し等)の実施。
- 年2回(夏、冬)の防災パトロールの実施。
- 階段列毎の組長を1年交代で輪番選出し、自治会参加意識を醸成。
- 毎年の新役員・自治会員等を対象に救命講習会を受講。
- マンション内にAEDを2台設置。

# レックス式番館 自治会



## 【最終避難所】

立入が丘小学校



## 自治会の自慢

- マンションなのに隣同士のコミュニケーションが活発。
- 新耐震基準によって建てられている。

## 防災上の課題

- 防災倉庫が資機材取り出しに不便な場所にある。
- 備蓄食料品の自治会での準備量が少ない。

## 防災スローガン

「全員安全 全員避難」

## 特徴的な防災活動

- 火災想定での避難訓練を毎年実施している。
- LPG の備蓄が約20日分ある。

# 今後必要な取り組み

吉身学区では地区防災計画策定後も、学区として以下のような防災活動に取り組み、地域防災力の向上と災害時に実効性の高い対応ができることを目指します。

- 学区災害対策本部が主導した学区での実践的な防災訓練
- 小学校区の特徴に合わせた防災訓練
- 無線機を用いた情報伝達の検討
- 避難所運営までを見据えた訓練
- 体育館を使用した実践的な避難所運営の検討
- 風水害の避難や初動対応の検討
- 自治会ごとの避難の動きの共有



# おわりに

吉身学区は吉身小学校区と立入が丘小学校区の2つの校区からなり、それぞれ5つの自治会で学区が形成されています。市役所や病院などを擁し、三上山を望む野洲川河川公園や田園風景も残し、住みやすさを実感できるまちとして世帯数が増加の一途を辿っています。暴れ川として大洪水災害を繰り返していた野洲川も40年前に改修され現在は災害のないまちとして安全・安心の日々を送り、住民は災害に疎く、意識も薄らいでいるのではないかと懸念されてきました。

数年前から「自治会防災担当者会議」を毎年1回開催し、各自治会の防災活動の報告や紹介をすることにより、自治会ごとの防災活動の強化を図ってまいりました。

この度、守山市の提案により吉身学区は「地域防災計画策定」に名乗りを上げ、アドバイザーに龍谷大学の石原准教授、一般財団法人 関西情報センターの坊農様をお迎えし、先ずは災害発生の危険性のある「地区防災計画（地震初動編）」の作成に取り掛りました。

論点は2校区10自治会のそれぞれの活動組織と守山市および吉身学区の繋ぎの体制がどうあるべきか、避難経路や避難場所の収容能力はどうかなど、課題は沢山ありますが、今回初版作成後は先ずは皆さんの協力を得て、学区としての防災訓練ができるよう体制を整え、更には計画に基づいて一人ひとりが防災活動に参加できるようスパイラルアップしてまいりたいと考えています。

防災は一人ひとりが主役です。災害に強いまちをつくりましょう。

吉身学区長 山崎 清

# 吉身学区地区防災計画策定会議委員

所属	役職	氏名（敬称略）
元町自治会	自治会長	原田 賢二
元町自治会	総合防災委員長	古川 忠芳
下之郷自治会	自治会長	林 勲
下之郷自治会	副自治会長、自主防災担当	山下 龍司
吉身西町自治会	自治会長	中川 善一
吉身西町自治会	西町防災委員	林 芳治
吉身中町自治会	自治会長	宮川 清勝
吉身中町自治会	防災総括	西村 晃平
吉身東町自治会	自治会長	小西 由美子
吉身東町自治会	防災担当	西尾 光永
岡自治会	自治会長	中村 公
岡自治会	副会長、自衛消防隊長	大塚 敏雄
立入自治会	自治会長	山崎 清
立入自治会	会計	戸田 逸男
浮気自治会	副自治会長	佐野 佐次兵衛
浮気自治会	副自治会長	小島 慶嗣
浮気自治会	自主防災担当	中西 昌大
グランドメゾン守山自治会	自治会長	三宅 和夫
グランドメゾン守山自治会	防災・防犯副部会長	佐藤 國昭
レックス弐番館自治会	自治会長	尾崎 道美
レックス弐番館自治会	防災・防犯委員	北村 幸彦
吉身学区社会福祉協議会	事務局長	馬場 春造
龍谷大学政策学部	准教授	石原 凌河
一般財団法人関西情報センター		西田 佳弘
一般財団法人関西情報センター		坊農 豊彦
		前川 良栄

# MEMO

